



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.210 2020 December

今月の記事

Top News

- 令和元年度学位取得者表彰受賞者とのリモート・インタビューを行いました
……………1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

- 2,374人から学士の学位授与の申請
—令和2年度10月期申請分— ……………3

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

- 18人から博士の学位授与の申請
—大学院博士課程相当の課程修了者—
……………6

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- 大学ポートレート（国際発信版）ウェブサイト
で中国語による公表を開始 ……………7

機構の窓

- 会議の開催状況
……………8

主要行事日程

- Schedule（12月～2月）
……………9

TOP NEWS

○令和元年度学位取得者表彰受賞者とのリモート・インタビューを行いました

当機構では、学校教育法第104条の規定に基づき、我が国において大学以外で学位を授与する唯一の機関として、学位授与事業を実施しており、これまで8万7千人を超える人々に学位を授与しています。

学位取得者表彰は、学士の学位を取得した者のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた者を対象とする表彰制度で、平成29年度に「機構長緑秀賞」（機構ロゴマークにも使用されている希望を意味する“緑”色と、生涯学習に“秀”でた者に対する賞であることに由来）として創設されました。

今年度は、令和元年度の学士の学位取得者から3人が選考されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、学位取得者表彰式の開催を見合わせることにしました。その代替りとして、11月10日（火）、18日（水）にオンライン会議システムにより、受賞者とのリモート・インタビューを行いました。

はじめに福田機構長からのお祝いのメッセージが伝えられ、リモートでつながった受賞者からは喜びと感謝の言葉が述べられました。また、学位取得のきっかけや、生涯学習に関する体験などについて機構教職員との関連な意見交換がなされ、有意義で貴重な機会となりました。

なお、当機構では、年2回学位授与申請を受け付けており、申請方法や学位取得までの流れは、機構ウェブサイト（https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryu.html）で公開しています。



11/10のリモート・インタビューで挨拶の言葉を述べる
宮城氏㊦、齋藤氏㊧



11/18のリモート・インタビュー
で挨拶の言葉を述べる小西氏



リモート・インタビューでの機構教職員の様子

○受賞者3人よりいただいたメッセージを紹介いたします。

小西 美智子 様 （基礎資格：第2区分 専攻分野の名称：保健衛生学）

この度、機構長緑秀賞を頂き大変光栄に思います。

私は、結婚後子育てに専念したためブランクが長かったのですが、その経験ゆえに再度、発達領域の作業療法に従事したいと思うようになりました。そのためには、現在の作業療法、特に発達領域の作業療法についての現状や課題を知りたいと思っていました。長く海外に在住していたので在住国での作業療法士資格登録も模索していたのですが、ブランクだけでなく学歴不足という査定結果となり断念したという経緯もありました。帰国を機に日本で学士の学位取得を目指すことに決めました。海外からでもオンラインで通信制大学の科目履修が可能と知り驚いたことを覚えています。学修成果レポートの作成を通して、それまでの公私にわたる経験を基盤に作業療法士としての自分なりの今後の方向性を明確に確認することができました。

どこに住んでいても何歳であっても学習の機会が開かれている時代、学位取得はキャリアの拡がりということだけでなく、個人の成長という点からも想像以上に有意義なことだったと感じています。

是非、皆様にお勧めしたいと思います。

齋藤 匡 様 （基礎資格：第3区分 専攻分野の名称：工学）

今回、このような素晴らしい賞をいただき、驚くと共に心から光栄に思います。

私は大学入学後に体調を崩し、中途での退学を余儀なくされました。その際に先生方から教えていただいたのが、修得済みの単位を生かせる、この学位授与の制度でした。退学後は科目等履修生として学び、通信制の大学も活用しながら、社会人として働き始めてからも細々と単位修得を続けました。

申請手続き・学修成果レポートの提出・小論文試験を経て、学位をいただいたこの春、気づくと最初の入学から18年が経っていました。学位記が届いた瞬間を今でも思い出します。自分にとって気の遠くなるような長い時間でしたが、一単位ごとに確実に学位取得へ近づける道の存在は、大きな希望でした。

今は会社を辞め、大学院生として慌ただしく生活しています。主要国際学会での発表が目標で、勉強と研究に励む時間がある事に感謝しています。私のように志半ばで学位取得を断念した方に、この制度を知って欲しいです。一度修得した単位は消えません。時間切れもありません。諦める必要はないのです。

宮城 郁代 様 （基礎資格：第1区分 専攻分野の名称：芸術学）

この度は、機構長緑秀賞を頂き喜びと感謝で一杯です。

私が小学校低学年の頃、隣席する男子の似顔絵を描くと、皆の中から笑いと「ウォー」と声があがりました。私はそんなクラスメイトの反応が嬉しく得意になりました。その後、地元の短期大学「英語商業科」に進み郵政事務官として就職しました。

定年退職を機に、私に残された時間は好きな事だけをやろうと決め、美大受験に取り組み、美術大学短期大学部専攻科までの三年間、実技や美術史等について学びました。やがて、将来は大学院へ進み知識を深めたいという気持ちが強くなり、地元の芸術大学で科目等履修生として単位を積み上げ、機構へ申請した結果、学士の学位を取得する事が出来ました。

現在は、公募展に出品し絵を描き、大学院へ進学する夢を追いかけいています。経過する時間の長さは、同時に生涯学習につながり、「知る」ことの面白さを実感しています。学位取得は昇進・転職・学び直し・教員免許取得等、皆さんの夢を叶え可能性を広げる第一歩です。自分のペースで頑張ってください。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 2,374人から学士の学位授与の申請 —令和2年度10月期申請分—

短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等608人から、20専攻分野37専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和2年11月9日（月）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、令和3年2月19日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には令和3年3月末までに学士の学位を授与する予定です。

また、短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者1,766人から、9専攻分野18専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和2年11月9日（月）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、令和3年2月19日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には令和3年3月末までに学士の学位を授与する予定です。

<令和2年度10月期学士の学位授与申請者数>

（基礎資格別）

基礎資格	申請者数（人）
短期大学卒業生	613 [223]
高等専門学校卒業生	1,548 [1,543]
専門学校修了者	172
高校等専攻科修了者	6
大学中退者	20
飛び級	0
大学卒業生	15
外国資格	0
合計	2,374 [1,766]

（見込み申請者の内訳）

区分	申請者数（人）
短期大学専攻科修了見込者	591 [223]
高等専門学校専攻科修了見込者	1,546 [1,543]
合計	2,137 [1,766]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(専攻の区分別)

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)
文学	国語国文学	2
	英語・英米文学	15
	仏語・仏文学	1
	歴史学	5 [5]
	哲学	1
教育学	教育学	177 [104]
教養	比較文化	2
学芸	比較文化	2
社会科学	社会科学	1
法学	法学	2
経済学	経済学	1
経営学	経営学	9 [8]
理学	数学・情報系	1
	生物学系	1
薬科学	薬科学	3
看護学	看護学	275 [18]
保健衛生学	検査技術科学	23 [13]
	臨床工学	1
	放射線技術科学	9
	理学療法学	38
	作業療法学	8
	言語聴覚障害学	8
鍼灸学	鍼灸学	4
口腔保健学	口腔保健衛生学	69 [27]
	口腔保健技工学	11
栄養学	栄養学	38 [25]

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）
工 学	機 械 工 学	359 [356]
	電 気 電 子 工 学	478 [478]
	情 報 工 学	208 [207]
	応 用 化 学	195 [193]
	生 物 工 学	38 [38]
	材 料 工 学	31 [30]
	土 木 工 学	158 [157]
	建 築 学	74 [72]
	社会システム工学	4 [4]
農 学	農 学	1
家 政 学	家 政 学	4
芸 術 学	音 楽	48 [10]
	美 術	52 [21]
	演 劇	16
体 育 学	体 育 学	1
合 計		2,374 [1,766]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 18人から博士の学位授与の申請 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛医科大学校医学教育部医学研究科の令和2年9月修了者18人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和2年11月9日（月）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、医学・薬学専門委員会が指定されました。

専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、令和3年2月19日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には防衛医科大学校を通して、博士（医学）の学位を授与する予定です。

<博士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数(人)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医学	18
合計		18

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○ 大学ポートレート（国際発信版）ウェブサイトで中国語による公表を開始

当機構は平成30年10月より大学ポートレート（国際発信版）のウェブサイトを開示し、国公立大学の教育情報を英語により公表してきましたが、このたび令和2年12月2日（水）に中国語による公表も開始しました。

大学ポートレート（国際発信版）では、日本の大学への留学を希望する学生や海外機関等に幅広く活用されることを目指し、必要な教育情報を共通のフォーマットによりウェブサイトで公表しています。公表されている教育情報は大学から直接提供された信頼性の高いオフィシャルな情報です。ウェブサイトの表示言語に中国語を追加したことにより、中国語を母語とする留学希望者等の利用がより向上することが期待されます。

大学ポートレート（国際発信版）ウェブサイト URL

<https://jpcup.niad.ac.jp/>

※画面右上のボタンで表示言語（英語・中国語）の切り替えが可能です。

The screenshot shows the JPCUP website interface. At the top, there is a navigation bar with the JPCUP logo and the text '日本各大学情報総合网站'. To the right of the logo are language selection buttons for 'English' and '中文', and a '收藏夹' (Favorites) button. Below the navigation bar is a main menu with links for '主页' (Home), '详细检索' (Detailed Search), '大学的更新信息' (University Update Information), '关于我们' (About Us), and '关于日本留学' (About Studying in Japan). The main content area features a large banner image of graduation caps with the text '适合您的大学' (University suitable for you). Below the banner are several search filters: '学科领域' (Academic Field) with a dropdown menu, '学位种类' (Degree Type) with checkboxes for '短期大学士' (Associate Degree), '学士' (Bachelor's Degree), '硕士' (Master's Degree), '博士' (Doctoral Degree), '专业学位硕士' (Professional Master's Degree), and '专业学位法务博士' (Professional Master's Degree in Law), '学校类别' (School Type) with a dropdown menu, and '可用英语取得学位的项目 / 日语学习项目' (Projects for degree acquisition in English / Japanese learning projects) with checkboxes for '可用英语取得学位的项目' (Projects for degree acquisition in English), '入学前的日语学习项目' (Japanese learning projects before enrollment), and '日语学习项目' (Japanese learning projects).

機構の窓

○ 会議の開催状況

・ 学位審査会

第3回 令和2年11月9日（月） 15時00分～15時40分 （ウェブ開催）

議事

- 1 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の付託について
- 2 認定課程修了者等に係る学士、修士及び博士の学位授与の審査について
- 3 特例適用認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査結果に対する「改善計画書」の審査について
- 4 専攻科に係る特例適用認定の審査の結果について
- 5 特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の付託について
- 6 学士、修士及び博士の学位取得者数について
- 7 その他

主要行事日程

○ Schedule

12月

日	行事名	担当課
6日	令和2年度10月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
13日	令和2年度10月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課

2月

日	行事名	担当課
19日	学位審査会（令和2年度第4回）	学位審査課
26日	令和2年9月認定課程修了者（博士）に係る学位記伝達式・講評	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

